



2022年11月2日

各 位

会社名：フジ日本精糖株式会社
代表者名：代表取締役社長 櫻田 誠司
(コード番号 2114 東証スタンダード)
問合せ先：取締役上席執行役員管理本部本部長
吉水 あつ子
(TEL. 03-3667-7811)

(訂正・数値データ訂正)

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)の一部訂正について

当社が2022年10月31日に公表いたしました「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」につきまして、訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので訂正後の数値データにつきましても送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

2022年10月31日に「2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」の公表後に、その他有価証券の評価計算において、計算の誤りが判明いたしました。

その結果、四半期連結貸借対照表の投資有価証券が20,240千円、繰延税金負債が6,193千円、その他有価証券評価差額金が14,047千円増加いたしました。また、四半期連結包括利益計算書のその他有価証券評価差額金も14,047千円増加しております。

訂正箇所には下線を付して表示しております。なお、訂正箇所が多数に及ぶことから訂正事項については、訂正後のみ全文を記載しております。

2. 業績に与える影響

今回の訂正によって、連結業績予想に与える影響はありません。

以 上



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月31日

上場会社名 フジ日本精糖株式会社

上場取引所 東

コード番号 2114 URL <https://www.fnsugar.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 櫻田 誠司

問合せ先責任者 (役職名) 取締役上席執行役員管理本部本部長 (氏名) 吉水 あつ子 TEL 03-3667-7811

四半期報告書提出予定日 2022年11月10日

配当支払開始予定日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,105	11.9	993	33.0	1,194	39.7	962	28.2
2022年3月期第2四半期	9,927	8.4	746	7.0	854	2.2	750	28.7

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 1,118百万円 (11.1%) 2022年3月期第2四半期 1,006百万円 (9.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	35.85	
2022年3月期第2四半期	27.95	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	25,945	20,572	79.2
2022年3月期	24,745	19,712	79.8

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 20,538百万円 2022年3月期 19,755百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		0.00		13.00	13.00
2023年3月期		0.00			
2023年3月期(予想)				14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

2022年3月期 期末配当金の内訳 普通配当金 11円00銭 記念配当金 2円00銭

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	21,100	5.0	1,350	15.9	1,550	19.2	1,150	28.8	42.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- | | |
|--------------------|-----|
| 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 | : 無 |
| 以外の会計方針の変更 | : 無 |
| 会計上の見積りの変更 | : 無 |
| 修正再表示 | : 無 |

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	29,748,200 株	2022年3月期	29,748,200 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	2,896,344 株	2022年3月期	2,896,344 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	26,851,856 株	2022年3月期2Q	26,851,902 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、Withコロナに向けた新たな段階への移行が進められるなか、経済活動、消費活動に回復基調が見られつつありましたが、地政学リスクや急激な円安進行による物価高騰により厳しい状況で推移いたしました。世界的な金融引き締めが続くなか、さらなる物価上昇や、金融資本市場の変動など景気の先行きについては、下振れリスクが懸念される状況であります。

精糖業界においては、砂糖消費が減少傾向にあるなか、新型コロナウイルス感染症拡大の影響で落ち込んだ消費が十分に回復できておらず、さらに資源高などによる物価上昇が加わった厳しい事業環境が続いております。

このような環境下、当社グループでは、品質管理の徹底を図り、顧客満足度を高めるため、精糖は製品の安定供給に取り組み、機能性素材は高付加価値提案型の販売活動に引き続き、取り組んでまいりました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高11,105百万円（前年同期比11.9%増）、営業利益993百万円（同33.0%増）、経常利益1,194百万円（同39.7%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は962百万円（同28.2%増）の増収増益となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

① 精糖

精糖事業においては、新型コロナウイルス感染症による行動制限が緩和されたことにより、製品の荷動きが活況になりつつありましたが、資源高による消費低迷などの影響で販売数量は減少しました。利益面では海外原糖相場の上昇に国内製品市況が追いつかず、さらに円安やエネルギー価格上昇による製造コスト、物流コストが上昇した結果、減益となりました。

以上の結果、精糖事業の業績は、売上高5,735百万円（前年同期比7.2%増）、営業利益502百万円（同12.4%減）の増収減益となりました。

② 機能性素材

機能性食品素材イヌリンの国内販売は、昨年に続いて新たな採用分野であったチョコレート製品向けの継続納入や新規採用としてアイス向けなどを獲得した結果、販売数量を伸ばしました。タイのイヌリン製造拠点である連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co., Ltd.においては、製造数量の増加により稼働率が向上し、コスト圧縮を図れたことで採算性が大きく改善し、連結業績の向上に寄与しました。切花活力剤「キープ・フラワー」は、昨年の巣ごもり需要の反動により、家庭用製品の販売が前年割れの減収となりました。連結子会社ユニテックフーズ株式会社はCVS商材向けのゼラチンの販売が大幅に改善し、さらに主力商品であるペクチンなどの天然添加物素材の販売も回復した結果、増収を確保することができました。

以上の結果、機能性素材の業績は、売上高4,840百万円（前年同期比17.3%増）、営業利益653百万円（同85.2%増）の増収増益となりました。

③ 不動産

不動産事業の業績は、売上高286百万円（前年同期比0.2%減）、営業利益266百万円（同0.2%減）の減収減益となりましたが、引き続き安定収益確保に貢献いたしました。

④ その他食品

その他食品事業は、タイでの食品関連事業が中心であります。業績は売上高242百万円（前年同期比46.9%増）、営業利益18百万円（同396.8%増）の増収増益となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ4.9%増加し、25,945百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

① 資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ6.9%増加し、12,236百万円となりました。これは主に棚卸資産の増加等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ3.1%増加し、13,709百万円となりました。これは主に投資有価証券の増加等によるものであります。

② 負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ12.8%増加し、3,864百万円となりました。これは主に未払法人税等の増加等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ6.2%減少し、1,508百万円となりました。これは主に長期借入金の減少等によるものであります。

③ 純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ4.4%増加し、20,572百万円となりました。これは主に親会社株主に帰属する四半期純利益の計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ173百万円増加し、3,974百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

① 営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、514百万円（前年同期比14.6%増）となりました。これは主として、税金等調整前四半期純利益の計上、仕入債務の増加等によるものであります。

② 投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、3百万円（前年同期比98.6%減）となりました。これは主として、有形固定資産の取得による支出等によるものであります。

③ 財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、366百万円（前年同期比28.6%増）となりました。これは主として、配当金の支払額等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期の連結業績は、当初計画に対してプラスで推移しております。しかしながら、さらなる資源高や円安が懸念される状況下、原材料コスト、エネルギーコストの上昇が業績を下振れさせるリスクがあると判断した結果、現時点においては2022年4月28日付け公表の連結業績予想を修正しておりません。

なお、2022年4月28日付け公表の2023年3月期連結業績予想は、新型コロナウイルス感染症拡大による業績影響を加味して作成しております。

業績予想につきましては、当社が発表日現在において入手可能な情報に基づき判断したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,501,513	3,674,889
受取手形、売掛金及び契約資産	2,790,977	2,896,755
有価証券	300,000	300,000
商品及び製品	2,142,844	2,513,451
仕掛品	198,353	144,238
原材料及び貯蔵品	1,180,097	1,391,939
その他	1,331,510	1,317,280
貸倒引当金	△2,153	△2,376
流動資産合計	11,443,143	12,236,178
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	355,268	392,709
機械装置及び運搬具（純額）	242,427	284,203
土地	2,527,435	2,527,435
建設仮勘定	100,210	23,776
その他（純額）	98,548	117,961
有形固定資産合計	3,323,890	3,346,087
無形固定資産		
その他	81,773	78,984
無形固定資産合計	81,773	78,984
投資その他の資産		
投資有価証券	7,692,552	8,024,191
長期貸付金	1,913	1,981
関係会社長期貸付金	1,847,300	1,861,600
退職給付に係る資産	54,691	72,299
その他	312,990	337,710
貸倒引当金	△13,185	△13,046
投資その他の資産合計	9,896,262	10,284,736
固定資産合計	13,301,926	13,709,807
資産合計	24,745,069	25,945,986

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,326,292	1,458,122
短期借入金	1,289,600	1,388,170
未払法人税等	48,607	261,317
賞与引当金	127,160	135,330
その他	633,372	622,030
流動負債合計	3,425,032	3,864,971
固定負債		
長期借入金	276,640	100,000
繰延税金負債	836,530	908,920
資産除去債務	77,843	81,795
その他	416,071	417,426
固定負債合計	1,607,085	1,508,143
負債合計	5,032,117	5,373,115
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,097,151	2,102,408
利益剰余金	14,773,714	15,387,183
自己株式	△717,366	△717,366
株主資本合計	17,677,959	18,296,685
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,081,389	2,257,716
為替換算調整勘定	25,898	10,745
退職給付に係る調整累計額	△29,577	△26,307
その他の包括利益累計額合計	2,077,710	2,242,154
非支配株主持分	△42,718	34,031
純資産合計	19,712,952	20,572,871
負債純資産合計	24,745,069	25,945,986

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	9,927,154	11,105,318
売上原価	7,573,159	8,427,090
売上総利益	2,353,994	2,678,228
販売費及び一般管理費	1,607,100	1,684,663
営業利益	746,893	993,564
営業外収益		
受取利息	14,445	14,555
受取配当金	51,812	56,553
為替差益	-	38,884
持分法による投資利益	112,370	82,571
その他	20,331	17,003
営業外収益合計	198,960	209,568
営業外費用		
支払利息	7,709	8,828
為替差損	83,293	-
その他	70	144
営業外費用合計	91,074	8,972
経常利益	854,779	1,194,160
特別利益		
固定資産売却益	-	101
投資有価証券売却益	2,278	-
特別利益合計	2,278	101
特別損失		
固定資産除却損	24	0
投資有価証券売却損	745	-
特別損失合計	770	0
税金等調整前四半期純利益	856,288	1,194,261
法人税、住民税及び事業税	41,976	245,596
法人税等調整額	12,424	△7,499
法人税等合計	54,401	238,097
四半期純利益	801,886	956,163
非支配株主に帰属する四半期純利益又は非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	51,356	△6,379
親会社株主に帰属する四半期純利益	750,530	962,542

四半期連結包括利益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	801,886	956,163
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	121,507	176,326
為替換算調整勘定	80,844	△16,786
退職給付に係る調整額	2,685	3,269
その他の包括利益合計	205,036	162,809
四半期包括利益	1,006,923	1,118,973
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	950,699	1,126,966
非支配株主に係る四半期包括利益	56,223	△7,993

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	856,288	1,194,261
減価償却費	64,845	65,465
のれん償却額	2,716	-
賞与引当金の増減額(△は減少)	7,033	8,170
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△5,426	83
退職給付に係る資産の増減額(△は増加)	△11,385	△12,907
受取利息及び受取配当金	△66,257	△71,108
支払利息	7,709	8,828
為替差損益(△は益)	83,293	△51,231
持分法による投資損益(△は益)	△112,370	△82,571
固定資産除却損	24	0
固定資産売却損益(△は益)	-	△101
投資有価証券売却損益(△は益)	△1,533	-
売上債権の増減額(△は増加)	314,246	△96,295
棚卸資産の増減額(△は増加)	△295,894	△518,164
その他の流動資産の増減額(△は増加)	△107,406	△192,590
仕入債務の増減額(△は減少)	△122,791	128,164
その他の流動負債の増減額(△は減少)	△102,877	764
その他	141,535	△16,980
小計	651,750	363,787
利息及び配当金の受取額	94,058	79,365
利息の支払額	△4,856	△8,858
法人税等の支払額	△292,028	△55,784
法人税等の還付額	-	136,004
営業活動によるキャッシュ・フロー	448,923	514,515
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△79,002	△125,426
有形固定資産の売却による収入	-	102
無形固定資産の取得による支出	△9,809	△13,757
投資有価証券の取得による支出	△155,366	△800
投資有価証券の売却及び償還による収入	7,933	-
長期貸付けによる支出	△450,000	△470,000
長期貸付金の回収による収入	446,775	606,500
その他	△705	-
投資活動によるキャッシュ・フロー	△240,175	△3,382

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	54,720	△18,800
長期借入れによる収入	-	71,440
長期借入金の返済による支出	△35,000	△150,000
自己株式の取得による支出	△127	-
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の売却による収入	-	90,000
リース債務の返済による支出	△9,007	△9,942
配当金の支払額	△295,372	△349,074
財務活動によるキャッシュ・フロー	△284,786	△366,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	△17,292	28,620
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△93,330	173,375
現金及び現金同等物の期首残高	3,967,721	3,801,513
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,874,390	3,974,889

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	5,349,001	—	—	—	5,349,001	—	5,349,001
食品添加物	—	91,697	—	—	91,697	—	91,697
機能性食品	—	3,883,487	—	—	3,883,487	—	3,883,487
切花活力剤	—	150,706	—	—	150,706	—	150,706
製パン等	—	—	—	165,061	165,061	—	165,061
顧客との契約から 生じる収益	5,349,001	4,125,890	—	165,061	9,639,953	—	9,639,953
その他の収益	—	—	287,200	—	287,200	—	287,200
外部顧客への売上高	5,349,001	4,125,890	287,200	165,061	9,927,154	—	9,927,154
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,868	—	2,979	15,005	22,853	△22,853	—
計	5,353,869	4,125,890	290,179	180,066	9,950,007	△22,853	9,927,154
セグメント利益	574,200	352,954	267,342	3,705	1,198,203	△451,310	746,893

(注) 1 セグメント利益の調整額△451,310千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報並びに収益の分解情報

(単位：千円)

	報告セグメント					調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖	機能性 素材	不動産	その他 食品	計		
売上高							
精製糖、 砂糖関連製品	5,735,945	—	—	—	5,735,945	—	5,735,945
食品添加物	—	93,406	—	—	93,406	—	93,406
機能性食品	—	4,602,745	—	—	4,602,745	—	4,602,745
切花活力剤	—	144,023	—	—	144,023	—	144,023
製パン等	—	—	—	242,434	242,434	—	242,434
顧客との契約から 生じる収益	5,735,945	4,840,175	—	242,434	10,818,555	—	10,818,555
その他の収益	—	—	286,763	—	286,763	—	286,763
外部顧客への売上高	5,735,945	4,840,175	286,763	242,434	11,105,318	—	11,105,318
セグメント間の内部 売上高又は振替高	6,138	—	2,999	19,207	28,344	△28,344	—
計	5,742,083	4,840,175	289,762	261,642	11,133,663	△28,344	11,105,318
セグメント利益	502,929	653,747	266,710	18,490	1,441,877	△448,313	993,564

(注) 1 セグメント利益の調整額△448,313千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。